

自己評価書の 作成/提出について

平成30年6月

大学改革支援・学位授与機構
大学機関別評価担当者研修会

自己評価書の作成にあたって

1. 自己評価書は、機構ウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp>）に掲載されている様式（MS-Word版：A4横長・横書き）を使用し、領域ごとに作成してください。様式ファイルは、書式が設定してありますので、変更しないでください。
2. 表紙・目次ファイルには、大学名、年月、目次に、領域ごとのページ番号を記載してください。
3. 領域ごとのファイルには各ページの右上に大学名を記述（表紙を除く。）します。領域6に関しては、学部又は研究科名も併せて記載します。
4. それぞれPDFファイルを作成し、「大学の現況、目的及び特徴」以降のファイルを統合し、中央下に通し番号を付与してください。
5. 原則として、
 - ・日本語は MS 明朝体 で全角、英字は MS 明朝体 で半角（略称は大文字全角）
 - ・一桁の数字は MS 明朝体 で全角、二桁以上の数字は MS 明朝体 で半角
 - ・機種に依存する文字は、使用しない。（例）単位記号、省略文字、囲み数字等

自己評価書の作成

『自己評価実施要項』 P 5

1 大学の現況、目的及び特徴

機構が最終的に作成する評価報告書を公表する際に原則として原文のまま併せて掲載します。

(1) 現況

①大学名 ②所在地

③教育研究上の基本組織等

設置されている学部・研究科等の教育研究上の基本組織等を全て記述します。

④学生数及び教員数

評価実施年度の5月1日現在における、学部・研究科等の学生数及び教員数を大学全体の合計として記述します。

※この現員数は、「認証評価共通基礎データ」記載の数値と一致させてください。

(2) 目的

第2章の「I 目的の確認」を踏まえ、大学等の目的を記載します。

各目的には、その出典（学則等や大学概要、ウェブサイトなど）を括弧書きで明示します。

(3) 特徴

大学の沿革・理念を踏まえ、また、目的の背景となる考え方等も含め、大学の特徴が表れるよう2,000字以内で簡潔に記述してください。

2 基準ごとの自己評価

- ① 自己評価実施要項 第2章の「Ⅱ 基準ごとの自己評価」で実施した分析で、特定した根拠資料・データの名称を自己評価書様式の【分析項目に係る根拠資料・データ】欄に記載します。
- ② 分析項目を十分に立証できない場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、【特記事項】欄に、その事態に対応するための計画及びその進捗の分析等を400字以内で記載します。
- ③ 基準に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料・データを参照する際に留意すべきこと等があれば、【特記事項】欄に400字以内で記載します。
必要に応じてその根拠資料・データを特定又は作成し、随時参照可能にしてください。

- ④ 上記 ① 及び ② で確認した内容を踏まえ、基準に係る判断を記載します。
- ⑤ 基準ごとの分析の結果、優れた成果が確認できた場合にはその取組を抽出し、改善を要する内容が確認された場合には改善を要する事項として抽出して、その内容を【優れた成果が確認できる取組又は改善を要する事項】欄に記載してください。

〇〇大学

Ⅱ 基準ごとの自己評価	
領域③ 財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準	
基準③-1 財務運営が大学の目的に照らして適切であること	
分析項目③-1-1 毎年度、財務諸表等について法に基づき必要な手続を確していること	分析項目に係る根拠資料・データ欄 ・直近年度の財務諸表 ・上記財務諸表に係る監事、会計監査人の監査報告書 ①
分析項目③-1-2 教育研究活動に必要な予算を配分し、経費を執行していること	・予算・決算の状況（過去3年度分）がわかる資料（別紙様式③-1-2） ・分析の手順に示された理由がある場合に、その理由を記載した書類
【特記事項】	
① 上記の分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できずと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。	分析項目③-1-〇 ・・・・ ②
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに追加書きで記述すること。	活動取組③-1-A ・・・・ ③
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすが満たさないか。（該当する□欄をチェック■）	
☐ ① 当該基準を満たす ☐ ② 当該基準を満たさない	
優れた成果が確認できる取組 ・ ・ ④	
改善を要する事項 ・ ・ ⑤	

5

3 根拠となる資料・データ等の示し方

- (1) 分析項目に係る根拠資料・データは、資料番号、資料名（領域6においては学部・研究科名も明記）を定め、1つの根拠資料・データごとに電子ファイル（PDF）を作成します。

分析項目の内容を整理する方法が、別紙様式、認証評価共通基礎データ様式として示されている場合には、その様式を利用し、電子ファイル（PDF）を作成してください。

なお、Webページに掲載されているものを根拠資料・データとする場合には、該当ページの電子ファイル（PDF）を作成して、根拠資料としてください。

（基準3-6は除く。）

	分析項目番号	資料固有の番号	資料名・様式名	
 根拠資料	1	1	1	大学学則
 別紙様式	1	2	2	教員の年齢別・性別内訳

※領域6

 根拠資料	6	3	1	1	(〇〇学部)	カリキュラム・マップ
--	---	---	---	---	--------	------------

学部・研究科名

3 根拠となる資料・データ等の示し方



- (2) 表示、印刷した時に、左上に大学名、右上に資料番号が表示されるように作成してください。
- (3) 【分析項目に係る根拠資料・データ】欄に、該当する資料番号、名称を記載してください。
- (4) 根拠資料・データの一覧表を作成してください。
- (5) 自己評価書及び提出された根拠資料・データは、原則として公開します。
公表された著作物等を根拠資料とするときには著作権に配慮してください。
公表にふさわしくないものには、その旨を一覧表の備考欄に記載してください。
⇒具体的な示し方については、10月開催予定の研修会でご案内いたします。
- (6) 分析項目に係る根拠資料・データとして、別紙3「認証評価共通基礎データ様式についての注意事項」（73頁～）に基づき、「認証評価共通基礎データ」を作成してください。



自己評価書

自己評価書

〇〇大学

Ⅱ 基準ごとの自己評価

領域3 財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準

基準3-1 財務運営が大学等の目的に照らして適切であること	
分析項目	分析項目に係る根拠資料・データ欄
分析項目3-1-1 毎年度、財務諸表等について法令等に基づき必要な手続きを確していること	- 直近年度の財務諸表 - 根拠資料3-1-1-1 平成○事業年度 財務諸表 - 上記財務諸表に係る監事、会計監査人の監査報告書 - 根拠資料3-1-1-2 平成○事業年度 監査報告書
分析項目3-1-2 教育研究活動に必要な予算を配分し、経費を執行していること	- 予算・決算の状況（過去5年間分）がわかる資料（別紙様式3-1-2） - 別紙様式3-1-2 予算・決算の状況 - 分析の手順に示された理由がある場合に、その理由を記載した書類 - 根拠資料3-1-2-1 理由書
【特記事項】	
①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できず、継続する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。	
分析項目3-1-○	・・・
②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価で表現しきれない点や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、 <u>根拠資料とともに</u> 補足書きで記述すること。	
活動取組3-1-A	・・・

とさないが、(該当する口欄をチェック■)

技術標準 4-1-1 2

010000

標準(1)：建築現場の作業中発生する騒音(人から10m以内)を測定する
 標準(1-1)： 従来型防音壁(高さ2.5m)を標準とする。設置場所は、以下の通り

設置場所(標準)：作業中(人)に面する方
 標準(1-1)： 従来型防音壁(高さ2.5m)を標準とする。
 標準(1-2)： 従来型防音壁(高さ2.5m)を標準とする。
 標準(1-3)： 従来型防音壁(高さ2.5m)を標準とする。

備考：(1)標準(1-1)

標準(1-1)	標準(1-2)	標準(1-3)	標準(1-4)	標準(1-5)	標準(1-6)
標準(1-1)					
標準(1-2)					
標準(1-3)					
標準(1-4)					
標準(1-5)					
標準(1-6)					
標準(1-7)					
標準(1-8)					
標準(1-9)					
標準(1-10)					
標準(1-11)					
標準(1-12)					
標準(1-13)					
標準(1-14)					
標準(1-15)					
標準(1-16)					
標準(1-17)					
標準(1-18)					
標準(1-19)					
標準(1-20)					
標準(1-21)					
標準(1-22)					
標準(1-23)					
標準(1-24)					
標準(1-25)					
標準(1-26)					
標準(1-27)					
標準(1-28)					
標準(1-29)					
標準(1-30)					
標準(1-31)					
標準(1-32)					
標準(1-33)					
標準(1-34)					
標準(1-35)					
標準(1-36)					
標準(1-37)					
標準(1-38)					
標準(1-39)					
標準(1-40)					
標準(1-41)					
標準(1-42)					
標準(1-43)					
標準(1-44)					
標準(1-45)					
標準(1-46)					
標準(1-47)					
標準(1-48)					
標準(1-49)					
標準(1-50)					
標準(1-51)					
標準(1-52)					
標準(1-53)					
標準(1-54)					
標準(1-55)					
標準(1-56)					
標準(1-57)					
標準(1-58)					
標準(1-59)					
標準(1-60)					
標準(1-61)					
標準(1-62)					
標準(1-63)					
標準(1-64)					
標準(1-65)					
標準(1-66)					
標準(1-67)					
標準(1-68)					
標準(1-69)					
標準(1-70)					
標準(1-71)					
標準(1-72)					
標準(1-73)					
標準(1-74)					
標準(1-75)					
標準(1-76)					
標準(1-77)					
標準(1-78)					
標準(1-79)					
標準(1-80)					
標準(1-81)					
標準(1-82)					
標準(1-83)					
標準(1-84)					
標準(1-85)					
標準(1-86)					
標準(1-87)					
標準(1-88)					
標準(1-89)					
標準(1-90)					
標準(1-91)					
標準(1-92)					
標準(1-93)					
標準(1-94)					
標準(1-95)					
標準(1-96)					
標準(1-97)					
標準(1-98)					
標準					

根拠資料 3-1-2-1

理 由 書

①教育研究経費（平成○年度）の乖離について

根拠資料

3-1-2-1

自己評価書の提出

『自己評価実施要項』 P 7

提出書類

提出物	提出媒体
-----	------

自己評価書

統合版	電子媒体（PDF版） 紙媒体 1部
「大学の現況、目的及び特徴」、「領域1～6」	電子媒体（Word版）

根拠資料・データ

根拠資料（根拠資料一覧表を含む）	電子媒体（PDF版） 紙媒体 1部
別紙様式	電子媒体（PDF版、Word版） 紙媒体 1部
認証評価共通基礎データ様式	電子媒体（PDF版、Excel版） 紙媒体 1部

その他資料（評価実施年度における最新の資料）

①大学、大学院等の概要が記載されているもの（大学概要等） ②入学志願者や高等学校等に大学等を紹介するためのもの（大学案内等） ③教育内容、履修方法等を学生に周知するもの（学生便覧、ガイドブック等） ④シラバス、時間割 ⑤大学規則集 ※自己評価書提出後において、規則の改正があった場合には、速やかに提出してください。	紙媒体 各2部
--	---------

提出方法について

(1) 電子媒体の提出について

締切日までに機構の指定するクラウドサーバのフォルダに保存してください。

なお、自己評価書のWordファイルについては、「大学の現況、目的及び特徴」、「領域1～6」のファイルを統合せずに保存してください。

⇒詳細は、10月開催予定の研修会でご案内いたします。

(2) 紙媒体の提出について

◆ 自己評価書

- ・両面印刷（短辺綴じ）とし、表紙、目次の裏面は白紙
- ・長辺左側にパンチをし、製本せずに紙ファイル（A4縦）に綴ってください。

◆ 根拠資料・データ

- ・一覧表を付け、可能な限り、該当部分を抜粋のうえ、パイプ式ファイル等1冊に収めてください。

◆ その他資料

- ・シラバス、時間割、規則集がウェブサイトのみで公表されていて、冊子体がない場合は、当該URLを示したものを提出してください。ただし、シラバスについては、すべてのページを紙媒体にし、提出してください。

提出方法について

(3) 提出締切及び提出先

提出締切：平成31年6月28日（金）保存及び必着

提出先

機構が定めるサイト

⇒10月開催予定の研修会でご案内いたします。

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 評価事業部

※紙媒体の提出にあたっては、封筒等の表面に「大学機関別認証評価自己評価書
在中」と朱書きで表示してください。

ご不明な点は
ご遠慮なくお問い合わせください！

評価事業部評価支援課

(認証評価/選択評価に関すること) 大学評価係

TEL : 042 - 307 - 1642 MAIL : daigaku@niad.ac.jp